



Safety Answer

(セイフティ・アンサー)

製品活用事例

第1版 平成27年6月30日

Safety Answer(セイフティ・アンサー)は、
自分のアドレスを相手に知られずにメールに返信できたり、届くメールの送信者のメールアドレスを匿名化することで、個人情報を守ることを目的としたシステムです

Inter-Individual Mail Solution System **XES/IMS**



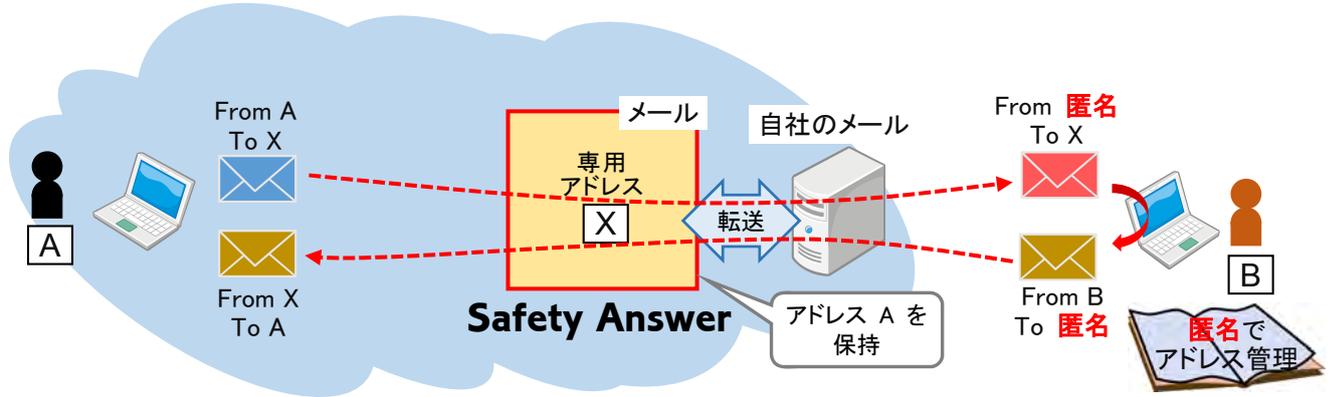
1. 受信メールアドレス匿名化(Incoming Protection)の利用例

個人や企業からのメール連絡や問い合わせを受ける機会の多い企業で、受け取ったメールの送信者アドレスの情報漏えい対策を確実にしたい場合に、効果を発揮します。

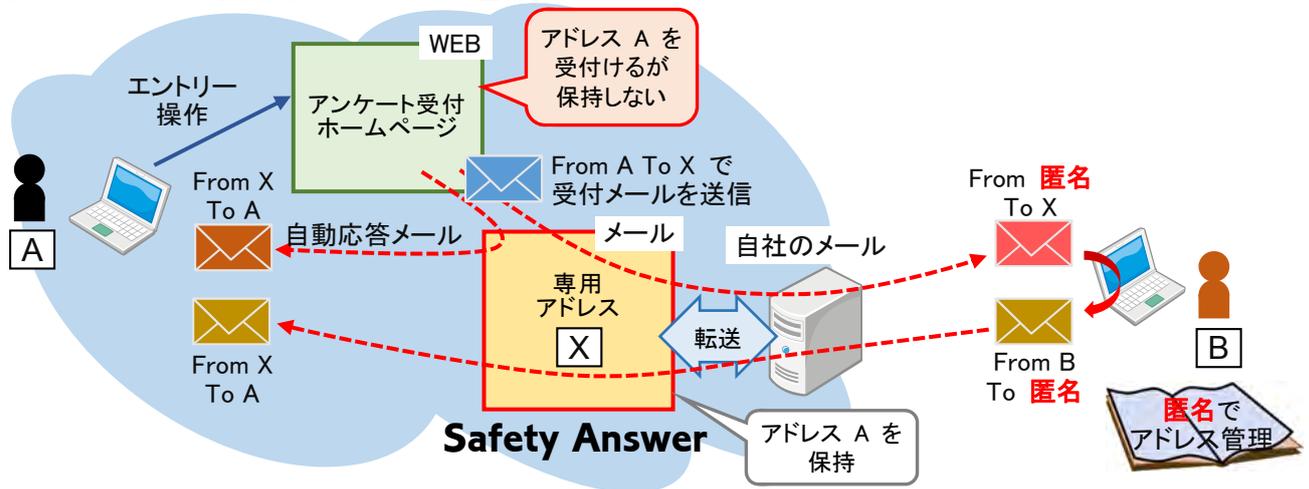
① 消費者向けのアンケート収集や問い合わせの受付

メールを使ってアンケートや問い合わせを匿名で受理でき、匿名の相手に正確に返信できます。

・メールで直接受信・返信



・ホームページから受付してメールで返信



Safety Answer を利用するには、専用アドレス(公開アドレス)が必要になります。

専用アドレスは、弊社の提供するドメインから取得したメールアドレス、弊社で運用する独自ドメインのメールアドレスまたは、弊社以外が運用するメールアドレスが利用可能です。

(但し、弊社以外が運用するメールアドレスに関しては、連携が困難な場合もあります)

② 企業の求人活動

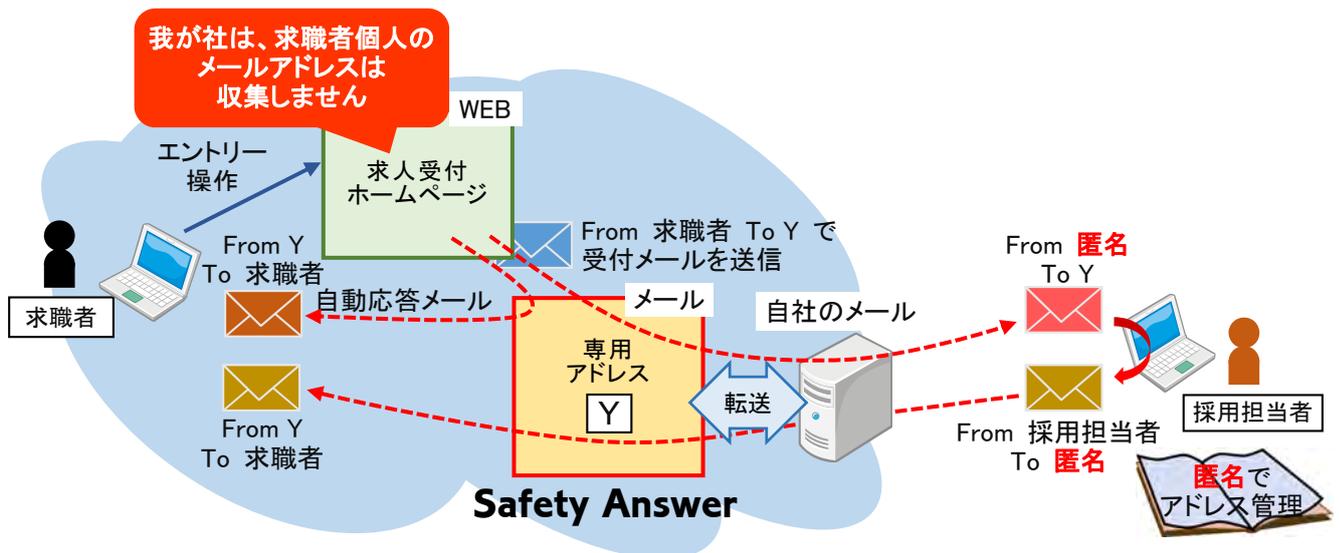
求職者から届くメールの送信者アドレスを匿名化することにより、個人情報(メールアドレスのみ)を収集せずに、求職者本人とメールでの連絡が取り合えます。

メール利用が当たり前となった就職活動ですが、求人する側の企業も収集した求職者のメールアドレスの管理に、細心の注意を払うことを要求されます。

採用担当者の PC に残った求職者のメールアドレスは、完全に破棄されない限り、盗み見られて漏えいする危険にさらされています。その様な情報漏えいのリスクを負っているのが現状です。

「我が社は求職者個人のメールアドレスは収集しません」と宣言して Safety Answer を利用して求人にあたることで、企業が負うリスクを大幅に軽減することができます。

求職者個人のメールアドレスを企業は最初から直接収集することなしに、採用活動が可能になります。また、採用に至らなかった求職者のメールアドレスも、採用担当者の PC からメールを送信する以外にメールを送ることができない為、盗用される心配もありません。



③ 登録会員とのメール連絡

例えば人材派遣業で、登録スタッフとの連絡メールアドレスを匿名化して個人情報を守ります。

自社へ届くメールの送信者アドレスを全て匿名化できて、匿名化されたメールアドレスへ正確にメールを返信できます。さらに、匿名化されたメールアドレスは、メールを受信した人だけが使える専用のアドレスなので、仮に持ち出されて他の PC などから送信しようとしても、メールを送ることはできません。

企業内に蓄積される顧客メールアドレスの情報漏えいリスクを、完全に回避する手段を提供するのが **Safety Answer** です。

2. 顧客メールアドレス漏えい対策(Enterprise Protection)の利用例

～標的型メール攻撃の被害拡大を防ぐ～

Safety Answer はインターネットへ公開されているメールアドレスへ届いたメールを、社内ネットのメールアドレスへ転送します。社内ネットのメールアドレスへ届く外部からのメールは、送信者アドレスが匿名化されて届きます。顧客メールアドレス漏えい対策

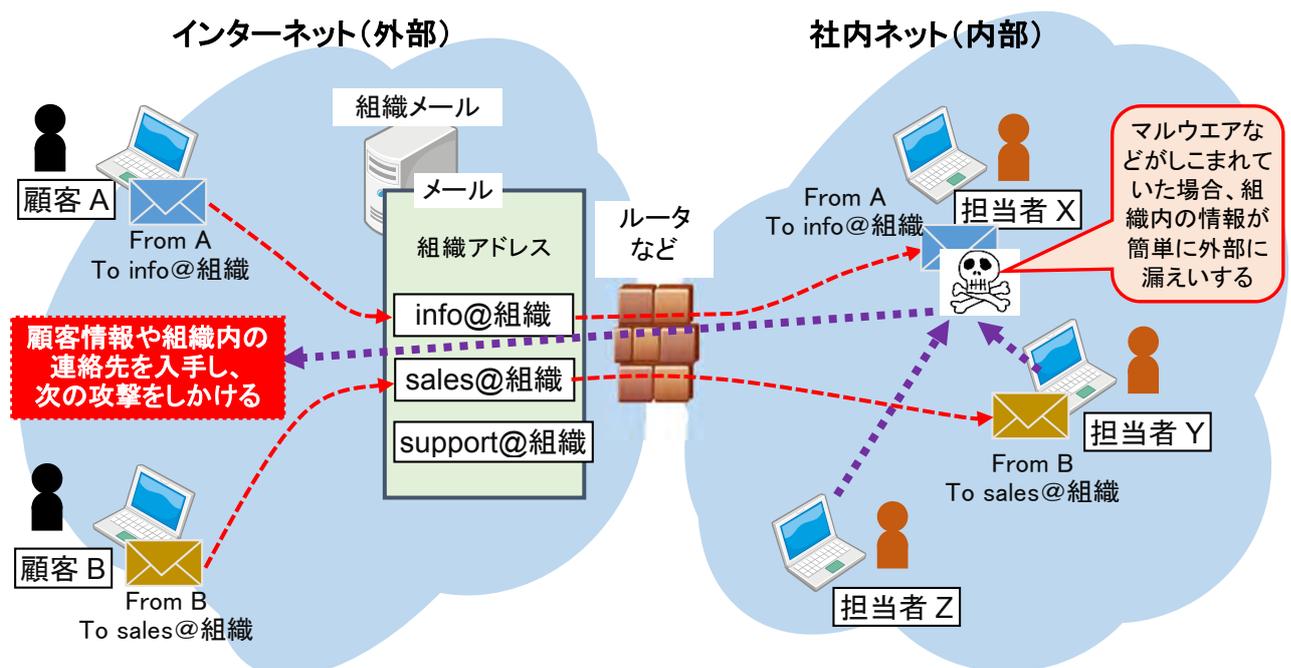
送信者のアドレスが匿名化されたメールを受信した利用者は、匿名化されたアドレス宛にメールを送信することで、**Safety Answer** によってメールの宛先が元々のメール送信者のメールアドレスに戻され、正確にメールの送信者へメールが送信されます。

外部から届くメールの送信者アドレスを匿名化することで、社内ネットで外部からのメールを受信する利用者は、メール送信者の実際のメールアドレスを知らずにメールを受け取り、メールを返信することができます。さらに、このメール送信者の匿名化されたアドレスは、メールの受信者個人のアドレス専用割り当てられたメールアドレスであって、メールの送信者へ返信ができるのは、メールを受信した本人に限定されます。

① 一般的なメール利用形態

組織で運用するメールアドレスを使って、直接担当者が自身の PC でメールを受信・送信します。担当者の PC には、顧客のメールアドレスが蓄積され、常時情報漏えいの危険にさらされています。

標的型攻撃の対象となりマルウェアなどが侵入した場合、自身の PC に蓄積されている顧客のメールアドレスのほか、組織内の PC のメールアドレスも漏えいし、二次、三次の攻撃の対象となります。



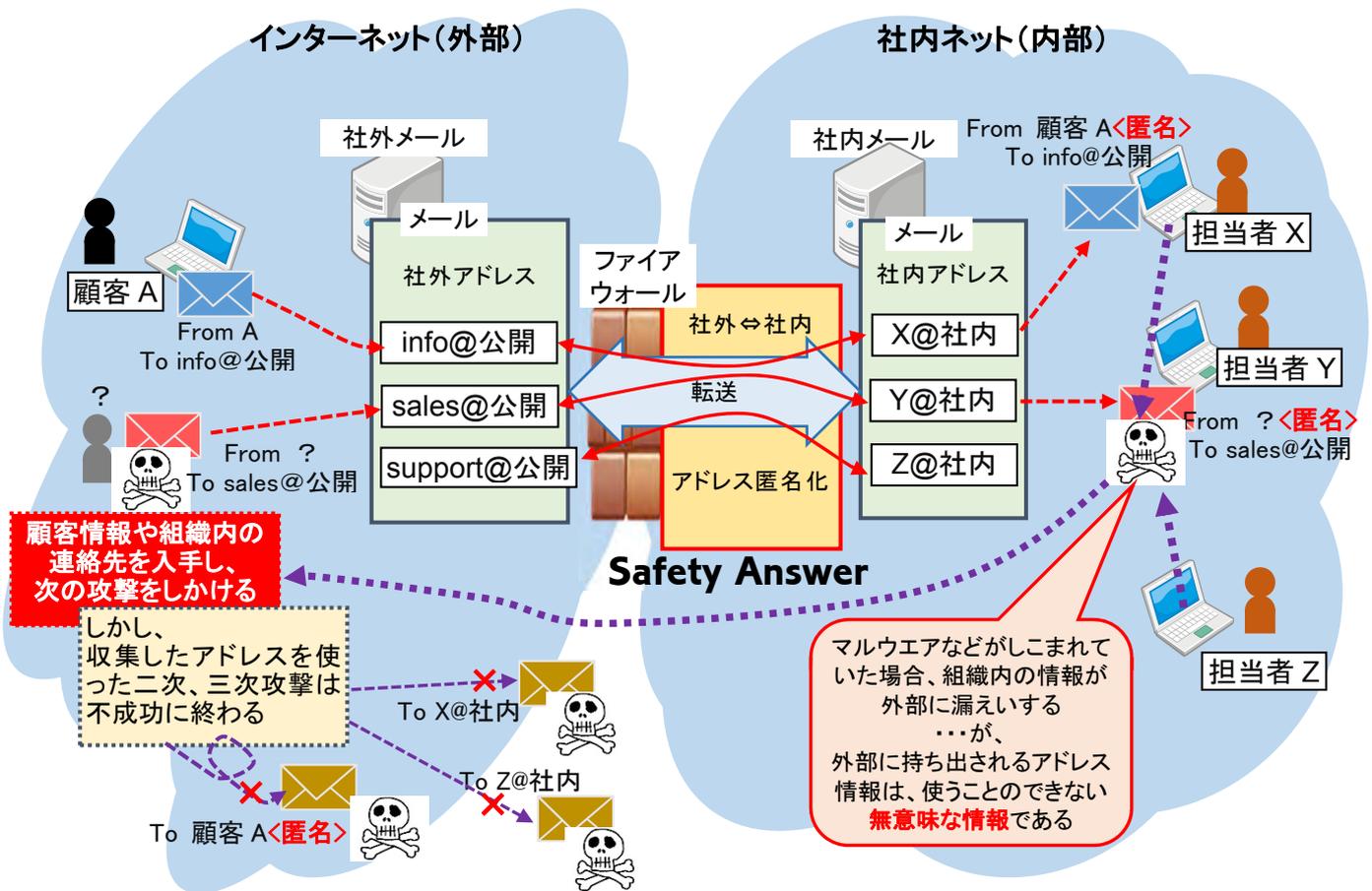
※ 組織メールサーバは、ISP のクラウドサーバなどを利用した例

② 社内と社外をメールアドレスで分離

ファイアーウォールの内部に、社内ネットだけで利用できるドメインを使用したメールシステムを運用します。

外部から届くメールは、**Safety Answer** が内部ドメインの担当者へ転送すると同時に、送信者のアドレスを匿名化してメールを届けます。

担当者が顧客へメールを送信する場合は、自分専用に匿名化された顧客のアドレスへメールを送信することで、**Safety Answer** が正確に顧客の本当のメールアドレスへメールを送信します。



たとえ社内の PC がマルウェアに感染し、顧客のメールアドレスや社内のメールアドレスが外部へ漏えいしたとしても心配はありません。

Safety Answer によってアドレスが匿名化されている顧客へはメール送ることはできません。また、社内の利用者に対して、外部から直接メールを送信することができません。

これにより、メールを使った二次、三次の侵入を防ぐことができ、標的型メール攻撃の被害拡大を止める効果を発揮します。

3. 受信メールアドレス匿名化(Incoming Protection)の利用例

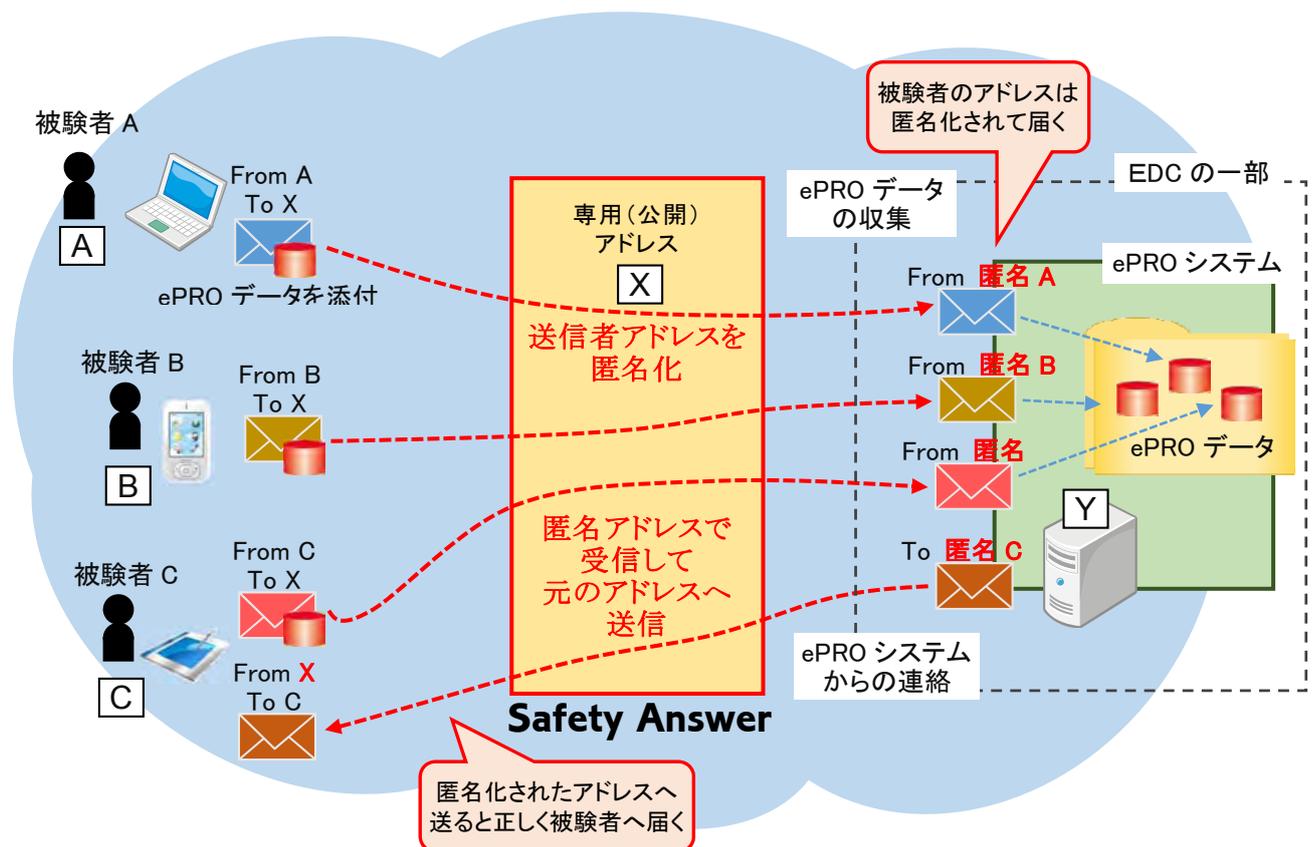
～臨床試験参加被験者の保護～

臨床試験において、被験者と ePRO システムとの連絡などに活用します。

メールを使つての ePRO データの送付はもちろん、スマートホンのアプリや WEB ページからの ePRO データの投入システムでも、被験者とのメール連絡時に **Safety Answer** を利用することで、被験者個人のメールアドレスが匿名化され、ePRO システムの運用者が被験者個人のメールアドレスを保持せずに、システムを運用することが可能となります。

① 被験者と ePRO システムのデータ転送やメール連絡に利用

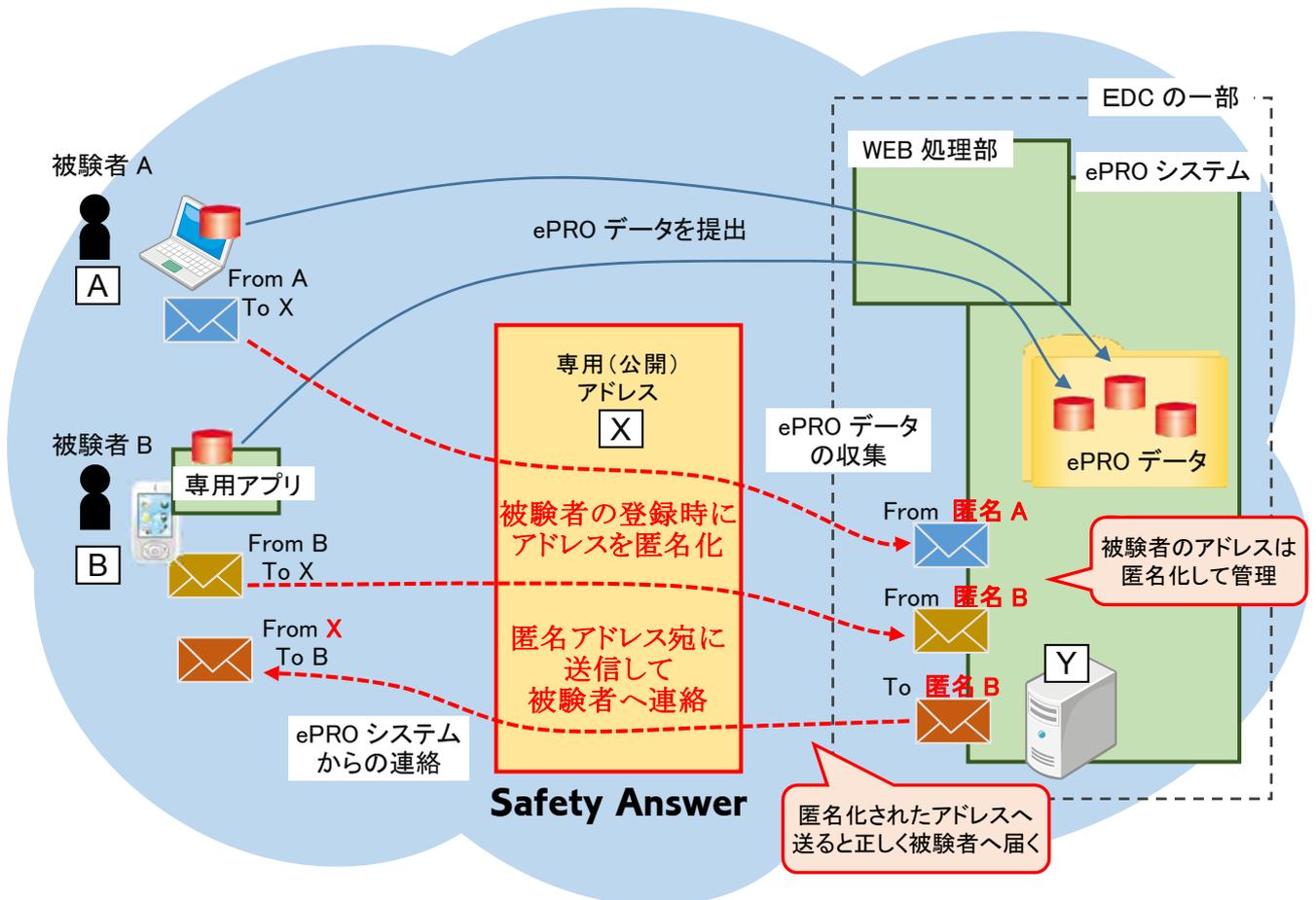
臨床試験に参加する被験者のメールアドレスを匿名化して、ePRO システムとの連絡に活用します。被験者から ePRO システムへ届くメールは送信者アドレスが匿名化されて届きます。ePRO システムから匿名化された被験者のアドレスへメール送信すると、正確に被験者へ届きます。



Safety Answer を使った被験者メールアドレスの匿名化は、既存の臨床試験システムに手を入れずに、ePRO システムの前段に **Safety Answer** を配置することで実現します。システム全体のリプレイスも必要が無く、大きな導入コストなども不要です。

② 被験者と ePRO システムのメール連絡に利用

ePRO データの提出は ePRO システムを活用し、被験者への連絡で **Safety Answer** を利用します。臨床試験に参加する被験者のメールアドレスは匿名化されて、ePRO システムへ登録されます。ePRO システムから匿名化された被験者のアドレスへメールを送信すると、正確に被験者へ届きます。



ePRO システムへ登録する被験者のメールアドレスを匿名化して運用することで、被験者の個人情報を守ります。直接被験者のメールアドレスへメールを送信するかわりに、匿名化された被験者のアドレスを使います。

Safety Answer を使った被験者メールアドレスの匿名化は、既存の臨床試験システムに手を入れずに、ePRO システムの前段に **Safety Answer** を配置することで実現します。システム全体のリプレイスも必要が無く、大きな導入コストなども不要です。

・外部委託を開始するには

外部委託先に対しては自社のメールアドレスを貸与する必要も無く、**Safety Answer** を使って、外部委託先のメールアドレスへメールを転送する設定をするだけです。

・外部委託をやめるには

委託契約の終了後には、**Safety Answer** のメール転送設定を削除することで、メールの転送も停止し、蓄積された匿名化した顧客のメールアドレスも全て削除されます。メール転送の設定を削除した後は、二度と匿名化したメールアドレスを使用してメールを送ることができなくなる為、情報の後始末も簡単で完全です。

メールの外部委託業務の管理権を完全に握ることができ、安心して運用ができます。

Safety Answer を利用するには、専用アドレス(公開アドレス)が必要になります。

専用アドレスは、弊社の提供するドメインから取得したメールアドレス、弊社で運用する独自ドメインのメールアドレスまたは、弊社以外が運用するメールアドレスが利用可能です。

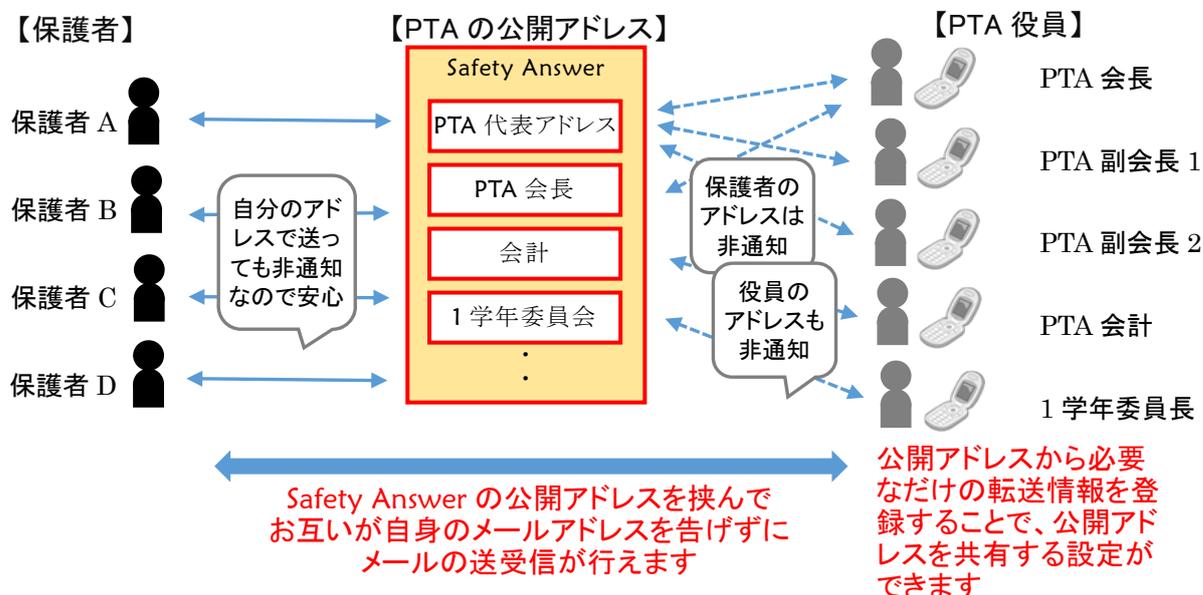
(但し、弊社以外が運用するメールアドレスに関しては、連携が困難な場合もあります)



5. PTA 向けメール連絡網(PTA Protection)の利用例

① 学校の PTA で利用

PTA の役員や委員になると、多くの人と連絡をとる必要から、自分のメールアドレスを公開することを要求されます。そんな時に、**Safety Answer** で新規のメールアドレスを取得して PTA 役員の連絡窓口として活用することで、個人のアドレスを多くの人に教える必要がなくなります。



PTA の役員や委員は毎年代わるため、専用を取得したメールアドレスを使う場合には、毎年パスワードを変更したり、メールアドレスを変更したりするなどの作業が必要になります。

Safety Answer のアドレスを利用すると、毎年選任される役員や委員の個人アドレスを転送情報として登録し直すだけで、新年度の役員連絡先の登録が完了します。また、転送先の情報を一旦削除することで、宛先へ送信された履歴情報(非通知として保存されている送信者の情報を含め)も全て削除されるので、年度の切り替え時などの作業が容易に実施できます。転送情報は利用者が自由に管理できます。

そのため、保護者へ周知する窓口のアドレスは、毎年変更せずに継続して利用することも簡単に実現できます。

② その他

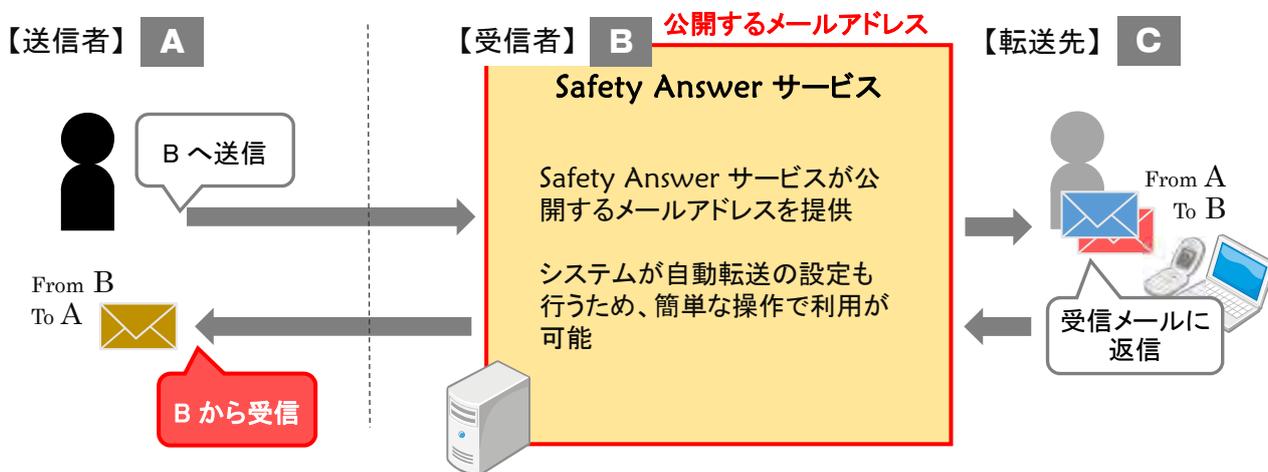
責任的な職務に就いたために自身のメールアドレスを公開しなければならない場合に、**Safety Answer** は効果を発揮します。

業務の外部委託に於いては、メールアドレス漏えいの心配が 100%なくなるとともに、委託先の管理が容易になります。

また、町会・自治会での連絡窓口や、マンション管理組合での連絡窓口など、連絡が取れば個人のメールアドレスを収集する必要のない業務分野での活用が期待できます。

6. Safety Answer サービスが提供する2つのメール転送サービス

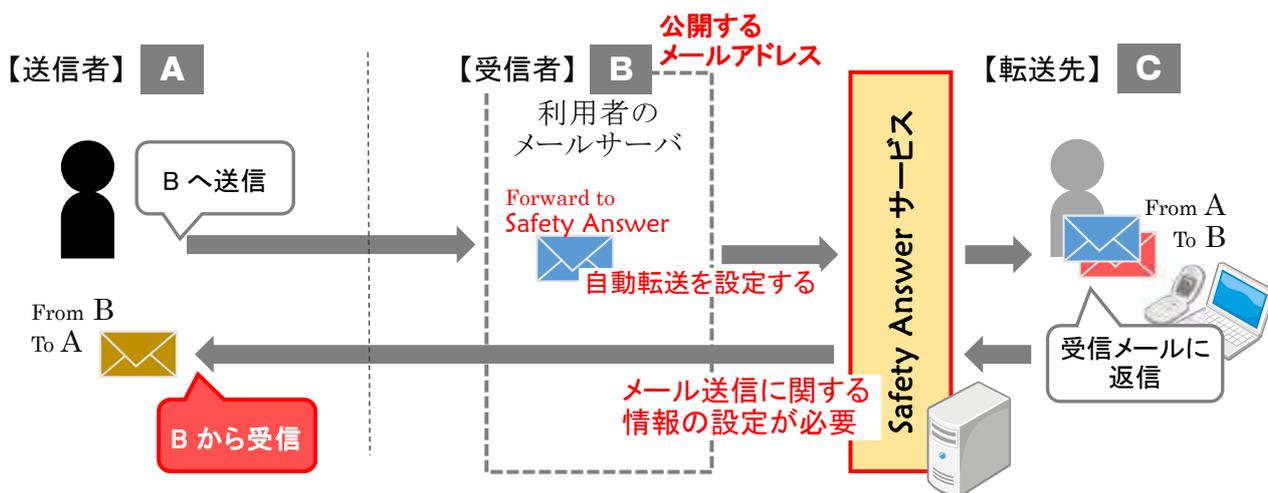
① 新しい専用のメールアドレスを取得して、Safety Answer を利用する



公開するアドレスは、**Safety Answer** で新規に取得して利用します

- ・**Safety Answer** が用意したドメインから新しいアドレスを取得し、公開するメールアドレスとして運用します。
- ・利用者登録でメールアドレスを取得すると、**Safety Answer** の設定の多くをシステムが自動的にを行います。
- ・公開するアドレスから、秘匿する(プライベートな)アドレスへの転送情報を登録するだけ。

② 利用者自身で取得したメールアドレスを使って Safety Answer を利用する



利用者が取得したアドレスを公開するアドレスとして、**Safety Answer** を利用します

- ・公開アドレスから **Safety Answer** システムへメールを自動転送する設定をします。
- ・公開アドレスからメールを送信する為の情報 (ID、パスワード、サーバ名など) を **Safety Answer** システムへ登録します。
- ・**Safety Answer** システムと連携できない場合もありますので、予め試用して確認して下さい。

7. Safety Answer のサービス利用

利用形態は、メールアドレス単位、専用ドメイン単位または、専用サーバを独自に立ち上げて利用する方法の3種類があります。

① 弊社の用意したドメインの中から、新しい専用メールアドレスを取得して利用する

取得できる公開アドレス数	転送登録できるアドレスの総数	料金(年額)	備考
5	20	¥28,000	
10	50	¥54,000	
20	200	¥104,000	

受信メールは利用者のメールアドレスへ転送するのみで、メールボックスでの長期保存はできません。

② 利用者の専用ドメインを弊社のメールサーバで運用して利用する

メールアドレス数	メール総容量	転送登録できるアドレスの総数	料金(月額)	料金(年額)	備考
10	500MB	50	¥6,600	¥66,000	
15	750MB	100	¥8,600	¥86,000	
20	1GB	200	¥10,600	¥106,000	
50	4GB	600	¥22,600	¥226,000	

上記は、弊社でドメインを預かってメールサーバのみを運用した場合の料金になります。

ドメインの取得・維持は、年間¥6,000、その他、サーバ構築費¥9,000がかかります。

③ 専用サーバを独自に立ち上げて利用する(ソフトウェアの提供)

Enterprise Protection は、**Safety Answer** システムを企業様専用のサーバ上で稼働させてご利用いただきます。サーバシステムの構築と導入が必要になります。また、個別要件へもカスタマイズを実施することで柔軟に対応ができます。

Safety Answer の導入には、Windows サーバをご用意下さい。(Windows 2012 R2 を推奨)

Safety Answer が標準で連携できる公開用メールサーバは、e-Post メールサーバ、IMail サーバ、Sendmail などになります。

御社のメール運用に関するご相談にお応えして、御社にあった運用形態をご提案いたします。サーバ導入費用は、ご相談の上、お見積りいたします。

株式会社 **エクセス** 

<http://www.xes.ne.jp>

〒179-0085 東京都練馬区早宮 1-18-15

<mailto:info@xes.ne.jp>

XES-NET
COMMUNITY INTERNET SERVICE

